

賢い人ダニエルと三青年

(2006年度『牧羊者』夏期学校教案)

「たといそうでなくても、王よ、ご承知下さい。わたしたちはあなたの立てた金の像を拝みません。」(ダニエル 3・18)

第1課 賢い決意 (ダニエル 1・1～12)

第2課 生きた信仰 (ダニエル 3・13～30)

第3課 生きておられる神 (ダニエル 6・6～24)

二〇〇六年度の夏期学校教案を発送できますことを感謝いたします。

早速、教案について説明させていただきます。

一、装丁について

今回も、局で作製したものを、各教会に1部ずつお送りします。必要な部数をコピーしてください。特にワークは、生徒の数にしたがって、何枚コピーしていただいても結構です。

夏期学校は、小学生が主なメンバーになりますので、ワークは、1・2年生を対象にした「A」、3・4年生向けの「B」、5・6年生を想定した「C」の3種類を用意しました。

しかし、1・2年生でも、上級のワークに挑戦したい子どもたちもいると思います。ぜひ、子どもたちの教会生活の長短や学年、理解力の程度に応じて、先生方が選んで与えてください。

二、カリキュラムについて

旧約聖書から「ダニエル書」を選びました。昨今、子どもたちは真の神を知らず、占い、オカルト、映画やテレビ、ゲームなどを通して、様々な悪の誘惑にほんろうされ、また、多くの事件に遭遇しています。

昨年同様、真の神を知って、神を知らないことがいかに大きな罪を招いていくかを知り、真の神を畏れる事が大切なことであるかを、教師も共にダニエル書から学びましょう。そして、神を畏れる賢い祈りの生活をする者とならせていただきます。

夏期学校は、一人一人の子どもたちとゆつくり交わり、語り合える最高の時です。交わりの中で、ふと自分の罪のこと、家族や学校での心の悩みを相談してきます。イエス様と共に明るく楽しい時間を過ごし、何でも語り合い、祈り合うなかで、一人でも多くの子どもがイエス様と出会う恵みの時となりますように。

今年度の教案の第1課は、人を恐れず、神を畏れて賢い決意をすること、第2課では、いのちをかけて真の神を信じた3青年の信仰にならうこと、そして、第3課は、祈りの生活が神との深く堅い信頼関係を築くことを学び、ダニエル書に記されている信仰にならうことを教えます。

一人一人の子どもが、ダニエルや3青年のように、人ではなく真の神に従うことを選び祈って、神に栄光を帰する子どもとされますように。そして、一人一人の子どもが神を証しできますように共に祈りしましょう。お互いの働きのために祈り合うとき、すばらしいことがなされることでしょう。

三、執筆担当者

メッセージ例 長谷川 宣恵師

下級ワーク 白尾 真理子師

中級ワーク 長谷川 ひさい師

上級ワーク 小岩 喜代美師

「牧羊者」のように聖書講解がありませんが、メッセージをアレンジしてください。最後に各地の夏期学校の上に祝福をお祈りいたします。

第一課 賢い決意

聖書 ダニエル1・1～21

暗唱聖句 ダニエル1・8

ダニエルは王の食物と、王の飲む酒とをもつて自分を汚すまいと、心に思い定めた。

目標 異邦の王を恐れず、神を畏（おそ）れて賢い決意をしたダニエルに学ぶ。

導入

皆さんがもし外国へ無理やり連れて行かれ、まちがった神様を信じるように言われたり、まちがったことをするように言われたらどうしますか？困ってしまいますね。勇気を出して断ることが出来るでしょうか。今日は、そんな大変な状況に出会っても賢い決意をしたダニエルと3青年のお話を学びましょう。

ダニエルたちはバビロンへ

紀元前605年に、イスラエルの国はバビロニア帝国に滅ぼされ人々は捕われの民となりました。ダニエルと友人のハナニヤ、ミシャエル、アザリヤたちも、バビロンへ連れて行かれ、そこで生活させられることになったのです。

ダニエルたちは王族の血統の者であり、顔かたちがよく、賢かったので、ネブカデネザル王（バビロン帝国の王）は彼らを選び出して、カルデヤ人（バビロニア帝国の支配民族）の教育を受けさせ、自分のために働く者にしようと考えました。

そんな彼らにまず最初に起こった困った出来事は、自分たちの名前と違う「呼び名」が付けられたことで

した。しかも、全員バビロンの偶像の神に関係して付けられた「呼び名」だったので。

ダニエルは「ベルテシャザル」これは「バビロンの神への祈願の言葉」でした。3人の友人の名前も「シヤドラク・メシャク・アベデネゴ」とそんな風に考えて付けられてしまったのでした。まことの神様を信じ続けて来た4人にとって、本当に悲しい「呼び名」だったと思います。

ダニエルたちの賢い決意

「呼び名」はがまんしたダニエルたちですが、どうしても、断固として拒否しなければならぬことがありました。とても大変な決意でしたが、ダニエルたちはそれを実行することにしたのです。

バビロンは古代から偶像礼拝の盛んな都市でした。2500にもおよぶ偶像の神々がありました。そのような偶像には、ほとんどの場合、肉や酒が供えられていました。その中には、律法で食べることを禁止されている動物の肉もあったのです。その「肉や酒を食べなさい」と言われたのです。

ダニエルたちは宦官かんがんの長（宮廷に仕える役人の長）に「王の食物と、王の飲む酒とをもって、自分を汚すまいと、心に思い定めた」（8）ので「王の与える食事をさせないでください」と申し出たのです。つまり、「偶像に供えられた肉や酒は食べたり飲んだり出来ません」と断ったのです。

宦官の長はとても困りました。王の命令に背いて違う食物を与え、ダニエルたちが他の青年たちより健康状態が悪くなったら大変です。王の怒りを自分が受けて、処刑されるかもしれないと思ったのです。宦官の

長も真剣だったのでしょうか。

そこで、賢いダニエルたちは言いました。「どうぞ、しもべらを十日の間ためしてください。わたしたちにただ野菜を与えて食べさせ、水を飲ませ、そして私たちの顔色と、王の食物を食べる若者の顔色とをくらべて見て、あなたの見るところにしたがって、しもべらを扱ってください」と係の役人に頼みました。すると、その願いが聞き入れられ、10日間だけ、ためされることになりました。本当ならそんなことは許されないはずですが、許されたのですから不思議です。

10日間が経ちました。なんと、王の食べる肉や酒で養われている若者よりも、野菜と水だけを食べ、飲んでいたダニエルたちの方が顔色がずっと良く、体も肥え太っていたのです。素晴らしいことですね。神様が彼らを守られたのです。

まとめ

3年の教育期間が終って王が若者たちをテストしてみました。なんと、他の若者たちと比べてダニエルたちは抜群な成績でした。全国の知恵者たちよりも10倍も賢かったことも分りました。それからのダニエルたちはバビロンの王に仕え、とても用いられるようになりました。

偶像の神に供えたものを食べることを堅く拒否したダニエルたちは、まことの神様だけを信じる信仰を周囲に告白する決意をしました。この決意を神様が守り、大きく祝福してくださいました。

神様を心から信じ畏れる人を、神様は必ずお守りくださるのです。

第二課 生きた信仰

聖書 ダニエル3・13～30

暗唱聖句 ダニエル3・18

たといそうでなくても、王よ、ご承知下さい。
わたしたちはあなたの神々に仕えず、またあなたの立てた金の像を拝みません。

目標

命をかけてまことの神を信じた3青年の信仰になろう。

導入

ダニエルと3人の友人はその後神様に守られ、なんとダニエルはバビロン州の総督になり、また3人の友は、書記官にまで昇進することが出来ました。一生懸命与えられたお仕事に励んでいたのでしょうか。そんな順調そうに見える時に、また、困ったことが起きました。今日は、ダニエルの友人であるシャデラク・メシャク・アベデネゴの3人の信仰について学びましょう。

金の像を拝みなさい

バビロンのネブカデネザル王は、ある時、高さが27メートルもある巨大な金の像を作り、楽器の音が聞こえた時には必ずその像を拝めという命令を出しました。ネブカデネザル王だけが最も偉大であることを示すためだったのです。「拝む」とは、神として礼拝しなさい、ということなのです。

もし、その命令を破る者は、直ちに火の燃える炉の中に投げ込んで、焼き殺されるというひどい刑罰つきのものでした。

シャデラク・メシャク・アベデネゴの3人は、もちろん、金の像を拝みません。天地を造られたまことの神様以外、何ものをも神様として拝むことなど出来なかったのです。

それを見ていた人たちがいました。それは3人をねたんでいたカルデヤ人たちでした。きつと、自分たちより王に高く評価されていた、ダニエルや3人の友人をうらやましく思い、うらみの気持ちをもっていたからだと思えます。ですから、ネブカデネザル王に告げ口をしたのです。

火の燃える炉

ネブカデネザル王はかんに怒りました。王は3人を呼び出し、「あなたがたがわが神々に仕えず、またわたしの立てた金の像を拝まないとは、ほんとうなのか。：拝むことをしないならば、ただちに火の燃える炉の中に投げ込まれる。いつたい、どの神がわたしの手からあなたがたを救うことができるか」（14、15）と脅かしました。「自分こそ神だ」と恐ろしいことを言う王でした。

しかし、この王の言葉に、シャデラク・メシャク・アベデネゴの3人は「この事について、お答えする必要はありません。もしそんなことになれば、わたしたちの仕えている神は、その燃える炉から、わたしたちを救い出すことができます。また王よ、あなたの手から、わたしたちを救い出されます。たといそうでなくても、王よ、ご承知ください。わたしたちはあなたの神々に仕えず、またあなたの立てた金の像を拝みません」（16～18）と力強く語りました。

何という強い信仰と勇気でしょう。「火の燃える炉」

が待っていても、「神様は必ず救ってくださいます！」と信じていた3人。「たとえ、このたびの燃える炉から救われなくて、焼け死んだとしても、神様は永遠の天国に私たちを招き入れてくださるので全然心配していません！」「たとえ、どうなるうとも、あなたの立てた金の像は拝みません！」と断固として偶像礼拝を拒否したのでした。

王は怒り、顔色まで変えて、炉をいつもより7倍も熱くさせ、3人をその中に投げ込ませました。

救出された3人

3人を炉に連れて行った役人が熱くて死ぬほどの炉でしたが、ネブカデネザル王が見ると、何と3人は火の中を歩いていたのです。しかも、「わたしの見るのに4人の者がなわめなしに歩いている：その第4の者の様子は神の子のようだ」、と王は言ったのです。

神を信じない王が「神の子がいる」と言い、3人に炉から出るように告げました。奇跡です。シャデラク・メシャク・アベデネゴの3人は、頭の毛も服も焼けず「火のにおいもない」姿でした。

まとめ

ネブカデネザル王は、この奇跡を目の当たりにし「3人の神はほむべきかな。このように救いを施すことのできる神は、ほかにない」と認めました。まことの神様があがめられたのでした。

3人の信仰は力強く、素晴らしいものでしたね。「たといそうでなくても」と自分の思いでなく、命をかけた信仰に私たちも見習いましょうね。

第三課 生きておられる神

聖書 ダニエル 6・6、24

暗唱聖句 ダニエル 6・23

これは彼が自分の神を頼みとしていたからである。

目標

祈りの生活が神との深く堅い信頼関係を築くことを知る。

導入

第二課では、ダニエルの3人の友人が「燃える火の炉」から神様によって救出されたことを学びましたね。今日の出来事も、とても恐ろしい出来事です。今日は、ダニエルの身に起こった神様の奇跡を学びましょう。聖書の中でもとても有名なお話です。

人々の陰謀（ねたみ）

バビロニア帝国はメデアという国のダリヨス王によって滅ぼされてしまいました。ダニエルは立派な人物だったので、続けてダリヨス王のもとで大臣として働き続けることになりました。しかも、ダニエルは総理大臣に任命されるほど、ダリヨス王に信頼されていました。

ところが、他の大臣がそのことをねたんで、ダニエルを引きずり降ろそうと相談しました。彼らは、ダニエルに悪いところはないかと、いろいろ捜しましたが、怠けず一生懸命に仕事をしますし、悪いところは全く見つからなかったのです。

とうとう大臣たちは「もう、こうなったらダニエルの信じている神様のことでしか、彼を困らせることは

出来ない」と考えつきました。

大臣たちの悪巧みがまとまり、彼らはダリヨス王に「王様、今から30日間、王様だけにしか願ひ事をしてはならず、もし王様以外の神様や人に願ひ事をする者がいたら、ししの穴に投げ入れましょう。そして、誰もこの法律を変えることができないものと決めましょう」と申し出たのです。

恐ろしい計画でした。大臣たちはダニエルを殺してしまおうとしたのです。ダリヨス王は何も分らず、だまされて大臣たちの考えをよいことだと思い、この命令にサインをしてしまいました。

ダニエルはその命令を知り家に帰りました。何をするために帰ったのでしょうか？ダニエルは「お祈り」をするために帰ったのです。「二階のへやの、エルサレムに向かって窓の開かれた所で、以前からおこなっていたように、一日に三度ずつ、ひざをかがめて神の前に祈り、かつ感謝した」（10）のでした。恐ろしい命令が下されたことをよく承知しながら、しかも、「お祈り」することが、王の命令に反していることを知りながらも、ダニエルはまことの神様を礼拝し、「お祈り」したのです。「いつも」していた通りに、「神様の前に祈り」をささげ続けたダニエルでした。

それを見張っていた人がいました。もちろん、ひどい命令を考えた大臣たちでした。彼らはダリヨス王に告げ口に行きました。「ダニエルをししの穴に」と訴えに来たのです。ダリヨス王はダニエルのことをとても信頼していましたので、何とかしてダニエルを救おうと一日中努力しましたが、王が命令しサインした法律は、王でさえ取りやめることはできませんでした。

ダニエル「ししの穴」へ！

王の命令は絶対です。とうとうダニエルは「ししの穴」に投げ込まれました。ダリヨス王は「どうか、あなたの常に仕える神が、あなたを救われるように」（16）と、ダニエルの信じているまことの神様へお祈りするような気持ちで石で穴をふさぎ封印しました。ダリヨス王は宮殿に帰っても、ダニエルが心配で、食事も食べられず、一睡もできませんでした。

次の朝早く、ダリヨス王は「ししの穴」にとんで行き、悲しそうな声で「生ける神のしもべダニエルよ、あなたが常に仕えている神はあなたを救って、ししの害を免れさせることができたか」と聞きました。すると、どうでしょう。殺されていて当たり前のダニエルから「わたしの神はししの口を閉ざされたので、ししはわたしを害しませんでした」と元気な声が返ってきたのです。王は大喜びで「ダニエルを穴から出なさい」と命じました。神様がダニエルを守られたのです。

そして、ダリヨス王の命令で、今度は、悪巧みを計画し、ダニエルを殺そうとした大臣たちが「ししの穴」に投げ込まれてしまったのでした。

まとめ

ダニエルは常に何をしました。それは「神に祈りをささげた」のです。神様に全く信頼し、祈ることを通して常に神様と交わっていたのです。だから、いつも心が平安だったのです。「信頼して祈り続ける」人を神様は必ず祝福してください。ダニエルのように信じて祈っていきましょう。

2006年度

だい か かしこ けつい
A 第1課 賢い決意

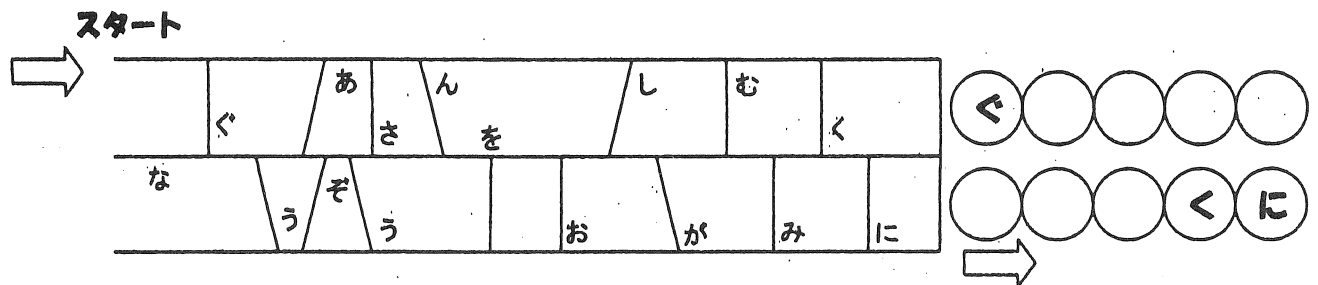
「ダニエル書^{しや}1章^{しやう}1節^{せつ}～21節^{せつ}」

なまえ

1. きょうのおはなしで正しいものには○、まちがっているものには×をつけましょう。

- ① ダニエルと3人のともだちは、バビロンの国につれてこられました。()
- ② ダニエルたちは、イスラエルの国にいたときと、おなじなまえでよばれました。()
- ③ ダニエルたちは、王さまからもらったごちそうを、おいしそうにたべました。()
- ④ ダニエルたちは、10日の間、やさいと水だけたべましたが、げんきでした。()
- ⑤ やさいと水だけをのんでいたダニエルたちより、ごちそうをたべていた人たちのほうがげんきでした。()

2. バビロンの国はどんな国でしたか？



3. バビロンの国につれてこられたダニエルと3人のともだちが、ここにきめたことは、どんなことでしたか？ ——でむすんでください。



ぼくたちは

ほんとう かみ
本当の神さまでないものを●

●れいはいします

ぐうぞうにささげた

たべものやおさを●

●たべたりのんだりしません

ほんとう かみ
本当の神さまだけを●

●おがみません

2006^{ねんど}年度

A 第2課 生きた^{しんこう}信仰

「ダニエル書^{しやう}3章^{しやう}13節^{せつ}～30節^{せつ}」 なまえ

1. きょうのおはなしから、右の文のあとにつづく文をえらんで でむすびましょう。

- ① シャデラク、メシャク、
アベデネゴの3人^{にん}は ●
金^{きん}の像^{ぞう}を

● 王^{おう}さまのいうとおり、おがみました。
● おがみませんでした。本当^{ほんとう}の神^{かみ}さまを
信^{しん}じていたからです。

- ② 3人^{にん}は火^ひの中^{なか}に ●
入^いれられたあと

● みんな焼^やけて死^しんでしまいました。
● だれも焼^やけ死^しぬことはありませんでした。

- ③ 王^{おう}さまは、火^ひの中^{なか}で ●
まもられた3人^{にん}を見^みて

● もういちど、火^ひの中^{なか}に入れてしまいました。
● 本当^{ほんとう}の神^{かみ}さまが、3人^{にん}を助^{たす}けた
ことを知^しりました。

2. きょうのみことばを、かんせいさせましょう。(ひらがな)(ダニエルしよ 3しやう18せつ)



わ	た	し	た	ち	は				
			の						
				に	つ	か	え	ず	
ま	た	あ	な	た	の	た	て	た	
					を	お	が	み	ま
					せ	ん			

3. シャデラク、メシャク、アベデネゴのしんじていた神さまは、せいしよにかかれています、わたしたちの神さまです。その神さまは、どんなかたでしょうか？ うれしいものに○をつけましょう。

せかいをつくり、
わたしたちを
つくられた
神^{かみ}さま

木^きや石^{いし}で
つくった神^{かみ}さま

わたしを愛^{あい}して
まもってくださ
る神^{かみ}さま

おいのりを
きいてくださる
神^{かみ}さま

2006^{ねんど}年度

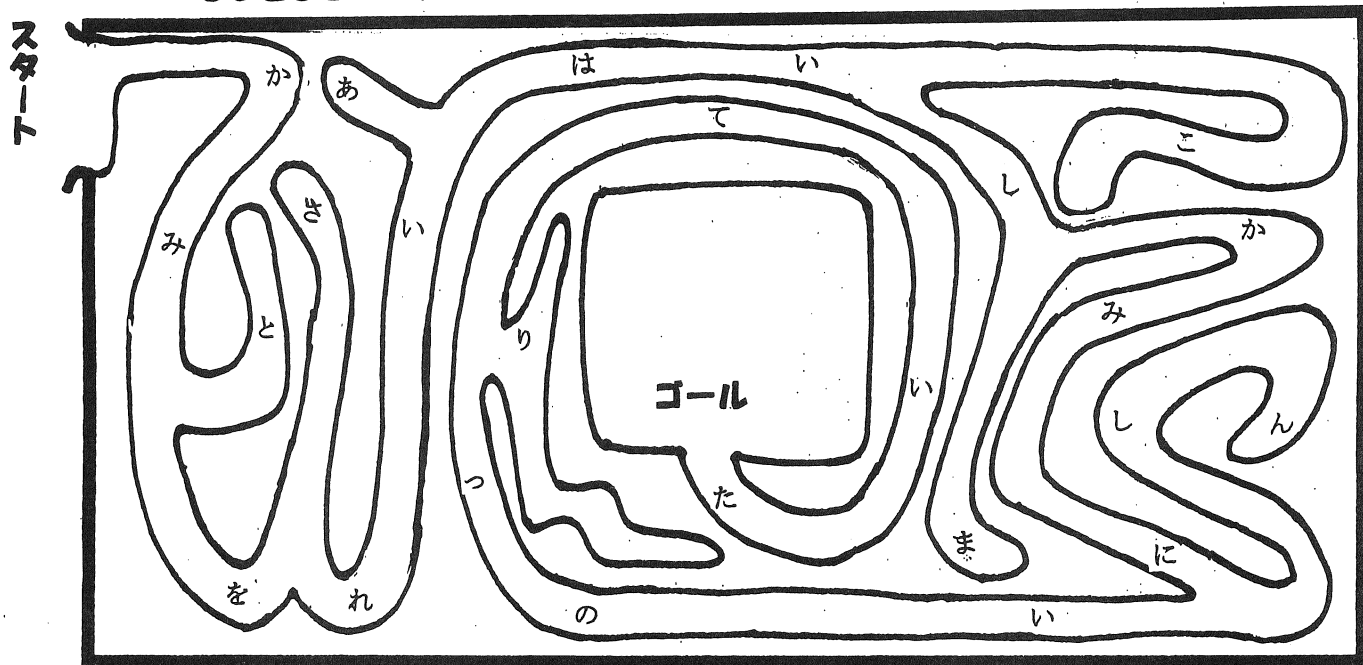
A 第3課 ^{だい} ^か ^い ^{かみ} 生きておられる神

「ダニエル書^{しや}6章^{しやう}6節^{せつ}～24節^{せつ}」

なまえ

1. ダニエルがいつもしていたことは、なんですか？

もじをひろって、ゴールまでいくとわかるよ。



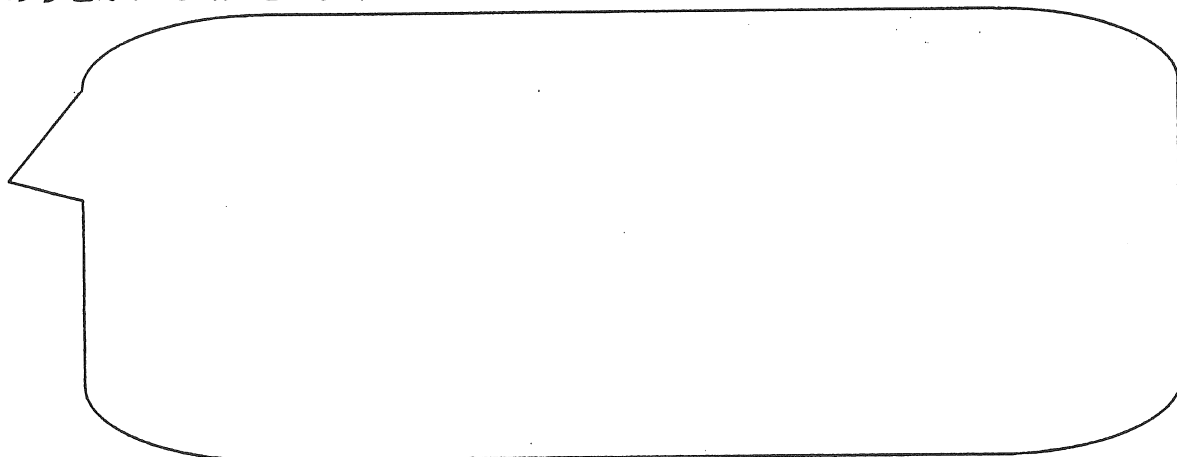
2. したのことは^{なか}の中からえらんで、○をうめて、^{ぶん}文をかんせいさせましょう。

ダニエルは、どんなときでも○○○○をれいはいし、○○○○をしました。ダニエルがライオンのあなにいれたとき、^{かみ}神さまはダニエルを○○○○ました。わたしたちも、いつもおいのりをして、^{かみ}神さまを信じましょう。

・まもられ ・かみさま ・おいのり

3. わたしたちの^{かみ}神さまは、^い生きておられます。そして、おいのりをきいてくださいます。

あなたのおいのりをかいてください。(せんせいといっしょにかんがえてね)



ダニエル書 1 章 1～21 節

てん どうさま かみさま こころ しん ことば まも ひと かみさま かなら まも
 天のお父様。神様を心から信じて、み言葉を守ろうとする人を、神様は必ず守ってください
 ことを知りました。私も心から神様を信じて、神様のみ言葉を守らないようなさそいを断る
 ことができるように助けてください。イエス様のお名前によって、お祈りします。アーメン。

い 生きた信仰

ダニエル書 3章 13～30節

1. 次の質問に答えよう！

- ① それぞれ、あてはまる人の名前を書きましょう。

金きんの像ぞうを作つくった人ひと ⇒⇒⇒ 【

金きんの像ぞうを拜おがまなかった人ひと ⇒⇒⇒ 【

王おうに告つげ口ぐちした人ひと ⇒⇒⇒ 【

- ② 金きんの像ぞうを拜おがまなかった人ひとたちは、王おうになんといいましたでしょう。

暗あん唱しやう聖せい句くを覚おぼえながら書かいてみよう！

ダニエル書 3章 18節



- ③ どうして、金きんの像ぞうを拜おがまなかったのでしょうか？ ○をつけてね。

★ 火ひの燃もえる炉ろの中なかに投なげ込こまれることをししらなかつたから。

★ 燃もえる炉ろの中なかに入いれられても、本ほん当とうの神かみ様さまが助たすけてくれると信しんじていたから。

★ 火ひの中なかから助たすけ出だされなくても、本ほん当とうの神かみ様さまだけをしれいはいしたから。

★ 金きんの像ぞうを拜おがまなくても、天てん国こくに行いけることをししっていたから。

2. かんがえてみよう！

- ① 偶ぐう像ぞうを拜おがんでいるのはどれでしょう？ 下したの中なかからえらんで○をつけてね。

▲ 地じ蔵ぞうにお辞し儀ぎをする。

▲ 神じん社しゃに初はつ詣まいに行く。

▲ こっくりさん

▲ 七なな夕しやうで短たん冊さくを書かいてお願ねがいする。

▲ 墓はか参まいりをする。

▲ 主しゅの祈いのり

▲ 教きやう会かいで本ほん当とうの神かみ様さまをしれいはいする。

▲ 流ながれ星ぼしにお願ねがいする。

▲ お守まもり

- ② もし、偶ぐう像ぞうを信しんじるように言いわれたり、上うへにあるようなことをしようとさそわれたりしたら、あなたは どうしますか？ ○をつけてね。

◆ その通とおりにする

◆ イエス様さまを信しんじているからできなことわいと断ことわる。

◆ 逃にげる

◆ その他【

《 お祈りしよう！ 》

天てんのお父とう様さま。日に本ほんにもたくさんのの偶ぐう像ぞうがあって、家いえや学がく校こうの行ぎやう事じでどうしてもやらなければいけないようなときがあらまいます。今いままでやってしまったこもあっりました。ごめんなさい。これからは勇ゆう気きをもって、「イエス様さまを信しんじているからできません」と言いえるように助たすけてください。イエス様さまのお名な前まえによって、お祈いのりします。アーメン。

2006年度

C 第1課

聖書 ダニエル1・1-21

賢い決意

名前 _____

★ あんしやうせいく 暗唱聖句をかきましょう。(ダニエル1・8)

(1) ダニエルたちが肉や酒を拒んで、野菜と水だけを頼んだのはなぜですか？

() 食べ物の好き嫌いがあったから。

() バビロンの人たちを困らせるため。

() 偶像に供えられた肉を食べたり、お酒を飲んだりしなくなかったから。



(3) 10日間のテストの後、ダニエルたちはどうになりましたか？

() やせこけてしまった () 肥え太った () 変わらなかった

(4) そのことから、どんなことがわかりますか？

() 野菜と水は、肉より栄養が豊富であること。

() まことの神様を信じる信仰を言い表す人を、神様は守ってくださること。

() ユダヤの人たちはみんな、菜食主義であること。

(5) 日本もバビロンのように偶像の神々が多くあり、それにまつわるさまざまな習慣があります。

どのように自分の信仰を言い表せばよいか、下の3人の場合を参考に話し合ってみましょう。



神社のお祭りにさそわれた時は？

うらな

占いの話でもり上がってる時に、なんだかいずらくなっちゃって・・・



みんながあたりまえにしていることをしないで、勇気があるよね。



★今日の決心と、お祈りを書きましょう。

2006年度

C 第2課

聖書 ダニエル3・13-30

生きた信仰

名前

★ あんしょうせいく 暗唱聖句をかきましょう。(ダニエル3・18)

(1) きびしい王の命令に対して、シャデラク、メシャク、アベデネゴは、どちらを選びましたか？

() しかたなく金の像そう おがを拝む。 () 絶対に金の像おがは拝まない。

(2) その結果、どうなったでしょうか？ 19-25節を読んで、ふさわしい言葉をいれましょう。

- ・ に入れられた。
- ・ しば縛って入れたのに、火の中を いる。
- ・ しかも、なんの をもうけていない。
- ・ 3人だったはずが、 となり、
その様子は のようだ。



(3) 「たといそうでなくても・・・」と言った3人は、どんな気持ちだったでしょう？

- () いくら神様だって、きっと無理だろうな。でも、死んでも天国なら、感謝です。
- () 神様は必ず救ってくださると信じて、あとはどうにでもなれ！！
- () たとえどうだろうと、まことの神様以外のものをおが拝むことはできません。

(4) もし、日本で「金の像おがを拝まなければ死刑しけい！」というきまりができたら、どうしますか？

下の3人の人の意見を参考に、話し合ってみましょう。

心で信じているなら、形だけ頭をさげたっていいかも。



金の像の近くに行かなきゃいいのだよ。どこか、外国に行く。



神様に守られるよう祈るだけだよ。



★今日の決心と、お祈りを書きましょう。

2006年度

C 第3課

聖書 ダニエル 6・6-24

生きておられる神

名前 _____

★ あんしょうせいく 暗唱聖句をかきましょう。(ダニエル 6・23)

(1) ダリヨス王の^{きんれい}禁令が出た後、ダニエルはどうしましたか？ 10 節を読んでふさわしい言葉を入れましょう。

二階のへやの、エルサレムに向かって

所で

からおこなっていたように、1 日に

ずつ、

ひざをかがめて神の前に

、かつ

した。



(2) それはなぜですか？

() ダリヨス王の^{きんれい}禁令を全く知らなかったから。

() 自分は王様のお気に入りだから、ししの穴にいられることはないと思ったから。

() 神様にお祈りすることが、なによりも一番大事なことだと思っていたから。

(3) ししの穴に投げ入れられたダニエルが助かったことによって、どんなことがわかりましたか？

(4) あなたはお祈りについて、どのように考えていますか？ 下の3人の人の意見を参考に、話し合ってみましょう。

ほんとの神様は
今も生きていて、
お祈りにこたえて
くださるんだよ。



なんだか、ひとり
ごとみたいで実感
がわからないなあ。



息をするよう
に、なくてなら
ないものよ。



★今日の決心と、お祈りを書きましょう。